

弁護士起業 ITが後押し

大手の法律事務所や民間企業などで勤務経験がある弁護士の起業が増えた。IT(情報技術)を駆使して法律関連サービスを提供する「リーガルテック」の市場が広がり、弁護士の活躍の場が広がっていることが背景にある。弁護士らしさを生かしたビジネスに取り組み4人を追った。

(児玉小百合)

「リーガルテック」広がる

「LINEと同じ感覚で弁護士と相談できるハードルが高いのはもういい」と思う。そんなアプリを展開するの弁護士トーク(東京・千代田)。同名のチャットアプリは18種類の相談カテゴリから各分野に強い弁護士を選び、直接相談できる。

大塚康志社長(46)は自ら法律事務所の所長を務める傍ら、2015年10月にこのアプリを公開した。「法律事務所を訪

弁護士のカリヤは多岐化している。法律事務所勤務や独立だけでなく、企業や自治体などで働く組織内弁護士は2016年6月時点で約1900人。10年で10倍に増えた。ただ、03年以前は弁護士法で弁護士による営利業務が許可制で難しかったこともあり、自らビジネスを手掛ける弁護士の絶対数はまだ少ない。

弁護士が経営者になる場合、ビジネスモデルの構築や運営に弁護士としての知

弁護士特有の課題も

識や経験、法務センスを活かして業務を運営する。南谷泰史(46)も自身の事務所での法律相談を有償でできる。営業などでも信頼感を得られやすいのは大きな武器だ。

「弁護士資格は事業失敗のリスクを減らせる」。例えは株式会社による訴訟で手掛ける。

「弁護士特有の課題もある。弁護士業界には所管官庁のリスクを減らせる」。例えは株式会社による訴訟で手掛ける。

有料仲介には法律の壁

「鬼頭政人氏」の意見も、有料の弁護士仲介を禁じる業法の可否を問いつつある。事業が軌道に乗るまで弁護士法72条だ。ITも明確な答えを得られないの間、弁護士業務で収入を確保しながらITも活用している仲介業者も多い。時代の変化に確保することもできるが、手数料を収益源とするモデルは議論し、道をひらけらだ。大塚康志氏は交通事案が採れないのは大きな壁。今後進化する声が出ている。

相談アプリ 依頼前にお試し

残業の紛争 GPSから証拠

日本リーガルネットワーク
南谷泰史社長
西村あさひ法律事務所
▶ポスト・コンサルティンググループ
▶残業証拠記録アプリ

弁護士ドットコム 橋大地氏
サイバーエージェントの企業内弁護士
▶ベンチャー法務のGVA法律事務所
▶オンライン契約サービス

弁護士トーク 大塚康志社長
大塚総合法律事務所設立
▶弁護士とのチャットアプリ

サイトビジット 鬼頭政人社長
石井法律事務所
▶産業革新機構
▶資格試験のオンライン学習サービス

弁護士ドットコム 橋大地氏
サイバーエージェントの企業内弁護士
▶ベンチャー法務のGVA法律事務所
▶オンライン契約サービス

日本リーガルネットワーク(東京・千代田)の時間や残業代を計算。裁判など紛争時の有力な証拠にでき、アプリから相談にのる登録弁護士につなげる仕組みだ。

南谷社長は新卒で大手の西村あさひ法律事務所に入所し一般企業法務を経験。13年からは米ボストン・コンサルティング・グループで企業コンサルタントとして活躍。13年からは米ボストン・コンサルティング・グループで企業コンサルタントとして活躍。13年からは米ボストン・コンサルティング・グループで企業コンサルタントとして活躍。

「自分たちはITで課題を解決するのが自然な流れだ。リーガルテックはまさに自分のやりたいことだ」という。橋大地氏は「紙で契約をネット上で置き換えるクラウドサインの仕組みは、基本的に法的な課題はない。だが紙に印鑑を押す文化が根付いた顧客の不安を払拭する上で、弁護士の肩書は営業の現場で大きな効果がある」という。今はビジネスの楽しさ

「自分たちはITで課題を解決するのが自然な流れだ。リーガルテックはまさに自分のやりたいことだ」という。橋大地氏は「紙で契約をネット上で置き換えるクラウドサインの仕組みは、基本的に法的な課題はない。だが紙に印鑑を押す文化が根付いた顧客の不安を払拭する上で、弁護士の肩書は営業の現場で大きな効果がある」という。今はビジネスの楽しさ

大阪オフィスを開業する6月上旬に開設アンダーソン・毛利・友常大手法律事務所のアダソン・毛利・友常法律事務所は6月上旬に大阪オフィスを開業する。関西を中心に西日本の企業の事業再生や海外進出などの法務需要を取り込む。同事務所にとっては東京、名古屋に続き、番目の国内拠点になる。

「自分たちはITで課題を解決するのが自然な流れだ。リーガルテックはまさに自分のやりたいことだ」という。橋大地氏は「紙で契約をネット上で置き換えるクラウドサインの仕組みは、基本的に法的な課題はない。だが紙に印鑑を押す文化が根付いた顧客の不安を払拭する上で、弁護士の肩書は営業の現場で大きな効果がある」という。今はビジネスの楽しさ

「自分たちはITで課題を解決するのが自然な流れだ。リーガルテックはまさに自分のやりたいことだ」という。橋大地氏は「紙で契約をネット上で置き換えるクラウドサインの仕組みは、基本的に法的な課題はない。だが紙に印鑑を押す文化が根付いた顧客の不安を払拭する上で、弁護士の肩書は営業の現場で大きな効果がある」という。今はビジネスの楽しさ

「自分たちはITで課題を解決するのが自然な流れだ。リーガルテックはまさに自分のやりたいことだ」という。橋大地氏は「紙で契約をネット上で置き換えるクラウドサインの仕組みは、基本的に法的な課題はない。だが紙に印鑑を押す文化が根付いた顧客の不安を払拭する上で、弁護士の肩書は営業の現場で大きな効果がある」という。今はビジネスの楽しさ